

桑野銳 （漢學者）。安政四年一月二十四日筑後國山門郡柳川生れ、
昭和四年八月二十九日歿（八七—九元）。幼名竹之助。號天山外史。
桑乃、桑雲峯、紫溟、紫溟居士、顧柳、顧柳散人、顧柳散史等。明治
二年揚善洋學校に入る。翌年長崎へ赴き洋行を圖ると果せず。七年警
視廳上野電信寮へ通學、十年石川正近と小學生徒の詩文集『藻蘭草』
を編輯發行。同年九月服部撫松の九春社へ入社、十二年編輯へ從事し
ころに『廣聞堂新聞』が發禁處分を受けける。のち宮内省へ奉職、東宮
主筆、博習官となつた。自筆「ひとまのわごくれ」、稿本「紫溟隨筆
（鈔）」を収めた。『明治藝文拾遺』（持城秀雄編、平成五年二月十七
日千葉・醒客菴）にある。

著書 『龍山北誌』（名花街春史）□全二冊（初篇・明治十二年十一月
貳篇・十三年十月九春社）、愛花情仙著 『東都仙洞綺話』（顧柳散史
名、評、明治十五年十一月五日二木貞一出版、開新社書房・九春社
春陽堂・うさぎ屋誠發
賣）、『支那俗語小説字林』（纂輯、明治二十九年八月一日又永堂）等。